

強化発展計画の役割と位置づけ

1 愛媛県社協の果たすべき役割や取り組みを明確化する

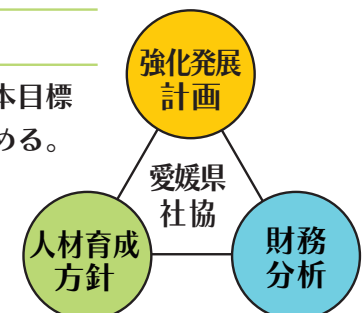
愛媛県社協が地域福祉の推進団体として果たすべき役割を明確化し、地域課題の解決や地域共生社会の実現に向けた方向性を示す。

2 目標の実現に向け、強化すべき事項を示す

福祉支援体制の強化や他機関との連携推進など、それぞれの基本目標達成のために必要な施策を具体化し、愛媛県社協の実行力を高める。

3 「人材育成方針」「財務分析」との一体的な指針とする

「人材育成方針」「財務分析」と連動し、一体的な事業運営の基盤を築くことにより、持続可能で信頼性の高い組織運営を実現する。



愛媛県社協の基盤強化に関わる3つの要素

Pick up

第5次強化発展計画が生み出す新たな事業

基本目標5

多様なパートナーシップによる福祉の進展と新たな価値の創造を目指す

新たな取り組みとして掲げる重点項目(3)

「社協」×「〇〇」による新たな取り組みの推進

多様な主体と連携・協働することで、新しい考え方や手法を採り入れながら、新たな取り組みを進め、次の世代につなげる価値を創りだすために、テクノロジーだけではなく多種多様な感性や価値観を含めたイノベーションにチャレンジする。

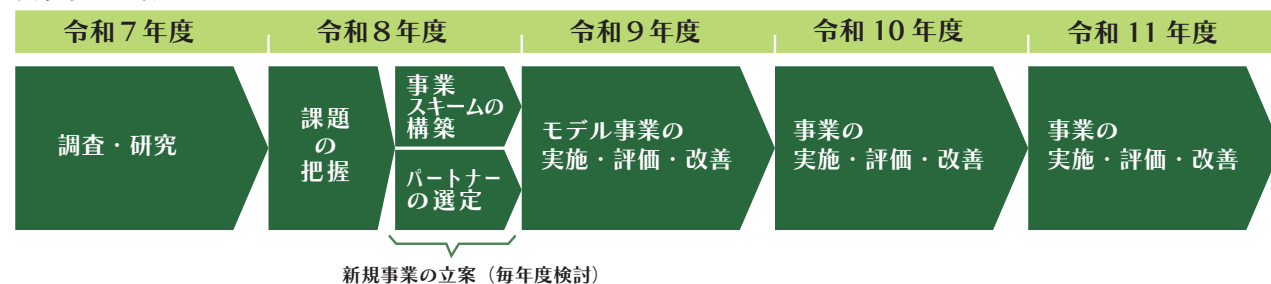
1 社協 × 「業界団体」(令和7年度から実施)

社会福祉法人等の経営状況の確認と見直しに関する事業の実施と福祉分野にも精通した専門家の養成

2 社協 × 「多文化共生」

多文化共生に向けた課題把握のための調査・研究、研究に基づく新規事業等の検討と実施

スケジュール



愛媛県社会福祉協議会が目指す姿への取り組みの方向性とその実現のために強化すべきこと

概要版

第5次強化発展計画

令和7(2025)年度 ▶▶ 令和11(2029)年度

基本理念

地域福祉推進の中核として、多様な主体とともに時代の変化に対応しながら、誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現を目指す

強化発展計画の目的

愛媛県社協では、平成17年度の第1次計画の策定から5年毎の見直し等を行いながら、第4次計画に至るまで地域福祉推進に取り組んできました。今回の第5次計画では、これまでの取り組みを総括し、これからの時代の変化に対応するための基本理念の見直しと、目的や役割の明確化を行い、中長期的に組織が目指す方向性を定めました。

福祉を取り巻く環境の変化に対応するための新たな重点項目



重点項目(3)「社協」×「〇〇」による新たな取り組みの推進

重点項目(5)業務改善やテクノロジー導入等による生産性向上

事業実施にあたり常に持つべき「3つの視点」

- ① ^{いま}現在の地域福祉を支える(現状の課題解決)
- ② ^{あした}未来の地域社会を創る(将来を見据えた取り組み)
- ③ ^{わたしたち}組織の魅力を高める(魅力ある組織づくり)

計画策定のプロセスの中で「今後の役割」「理想の姿」などをテーマに行った自由な意見交換を基に課題整理を行い、「3つの視点」を設定しました。

職員全員が計画内容を共有し、自らの業務意識や水準を高めることで、この計画に基づく取り組みを推進し、愛媛県の地域福祉の向上を図ります。



第5次強化発展計画 体系図

